

安心して子育てできる町を

私は、人形劇（エプロン）、読み聞かせ（みみずく）、子育てクラブ、国見っ子わんぱく広場などのボランティア活動を行っています。

人形劇では、町内や近隣の幼稚園や保育所から招かれ、汗をかきかき演じていますが、子どもたちの笑い声と真剣な目をとともうれしく感じています。

読み聞かせは、ももたん広場や小学校で行っています。絵本が好きな子は一番前で見つめます。恥ずかしいけれども楽しいですね。

子育てクラブは、お手伝いです。危なっかしい動きを見ていると微笑ましくなります。わんぱく広場は、小学校1



小林由香里さん
(板橋町内会)

年生から3年生と活動しています。子どもたちの元気パワーについていくのが大変でクタクタになりますが、笑顔で楽しんでいる子どもたちを見てみると私も楽しくなります。

私は、幼少期の子育て環境が大切だと思っています。子育て相談ができるニコニコ相談会。親の交流の場としての子育てクラブ。乳児健診に合わせたブックスタート。道の駅の木育広場での子育て支援活動。そして高校生までの医療費の無償化。藤田病院もあるし安心ですね。

このように、私の町、国見町は「安心して子育てできる町」を目指していると感じています。

「子どもは宝」子どもたちの笑顔が、私を、私たちを元気にしてくれると実感しています。体力は落ちてきますが、子どもたちから元気をもたらして、子どもたちと一緒に活動を続けていきたいと思っています。

28年度の事業の成果を調査



小学校校庭は水はけが良くなり活動しやすくなりました

9月定例会会期中の9月8日、平成28年度の決算認定についての議案調査の一環として、平成28年度中に行われたおもな事業の成果を確認するため、議員全員で現地調査を行いました。

調査事業は以下のとおりです。

- ① 赤坂配水池建設工事、泉田新田送水ポンプ場設備工事
- ② 旧大木戸小学校改修（あつかし歴史館）
- ③ 県北中学校校外壁改修
- ④ 国見小学校校庭暗渠工事

8月に降り続いた長雨で農作物の影響が心配されましたが、9月に入ると天候も持ち直し、それほど影響もなくて済みました。

さて、すっかり恒例となりました義経まつりも今年で22回目を数え、9月23日に盛大に開催されました。心配された雨も開祭式前には上がり、すべての行事が予定どおり行われました。メイン会場となった文化センター前広場はもろろのこと、商店街で開催されたグルメ街道にも大勢の客が訪れ大変な賑わいでした。中でも驚いたことは、公募していた静御前役に応募した人たちの多くは県外の人たちで、そういう意味では、我が国見町の義経まつりも全国的になってきているのかなと思います。

(東海林 一樹)

発行責任者

議長 東海林 一樹

広報常任委員会

委員長 松浦 和子

副委員長 村上 正勝

委員 東海林 一樹

委員 八島 博正

委員 佐藤 定男

委員 井砂 善榮

